



# F-wave

藤沢市市民活動支援施設情報誌「エフ・ウェーブ」

## 特集：“読書の検定” ただいまリニューアル中



漫画や動画、ゲームなど多様な娯楽がある中で、コロナ禍で図書館の利用制限期間があったことやインターネットの利用率上昇により、小学生の読書量が減少していると言われています（第五次神奈川県子ども読書活動推進計画 より）。そのような中、新しい形の読書推進を行うことで子どもたち一人ひとりの生きる力を伸ばす活動を行う（一社）読書認定協会（以後、読書認定協会）の神部ゆかりさんにお話を伺いました。

読書認定協会は、本を読み終わった後にストーリーについてのクイズに答える読書の検定ウェブサイト「読Q」を立ち上げ、

運営をしています。出題されるクイズは、読んで内容を理解していれば解くことができるというもの。現在、本読みの会を週に1回ずつ、市内の学童クラブや市民の家で実施しています。子どもたちは自分で本を1冊読み終わると「読Q」でクイズを解きます。読んでわかっていることについてのクイズをパソコンで回答し、合格し、ポイントをゲットするのはとても嬉しいことのように、次から次へと本を読むことにつながっているようです。

（つづく）



## 「読書の検定」ただいまリニューアル中

### 【読Q検定の出題例】

○× クイズです。下線部は、本の内容と合っていますか？

「エルマーは、たてがみを三つあみにして七いろのリボンでむすんでいる、おしゃれなライオンにであいました。」

『エルマーのぼうけん』 より



本読みの様子

なお、「読Q」は現在作り変えている最中なのだそうです。神部さんによると、活動を続けてきてその意義を感じながらも、子どもたちが使用するには難しかったり、いろいろと不具合がでてきてしまったりと、改良の必要性を感じていたとのこと。課題を見つめて試行錯誤していく中で、「読Q」のようなウェブサイトの運営に詳しい方と出会うことができ、本格的に新しい「読Q」の作成に取り掛かっています。

「欲張ってたくさんの機能を入れ、対象年齢も広く設定していたこれまでのものから、まずは小学生の子どもたちが使いやすいようにシンプルな仕組みにしようと思います。専門家の方と相談しながらまだ始めたばかりでやることは山積みですが、読書量競争グラフや団体戦機能を付けるなど、楽しめる要素も加えたいなと思っています。」とウェブサイトを作り変える難しさを感じながらも楽しそうに語る神部さん。現在は、本読みの活動とクイズづくりを続けながら、新しい「読Q」の公開に向けて準備を進めているとのこと。



ストーリークイズ制作の様子

読書認定協会は、子どもたちへの読書推進という活動を通じて見てきた課題に向き合い、改良に向けて進んでいます。「読Q」の改良によって、より多くの子どもたちが読書を楽しむことにつながると感じました。

「読書推進活動の方法は、いろいろあっていいと考えています。このウェブ検定を、読書に取り組むきっかけとして活用してもらえたら嬉しいです。」と神部さんは語ります。

「子どもは放っておいて読書するようにはなりません。今どきの小学生の親御さんは共働きが多く、両親とも忙しくてなかなかおさんの読書に向き合う時間が取れないご家庭もあります。全ての子どもの読書活動のために、いつか小学校でこの検定を取り入れてもらえたら・・・と夢見ています。」

今回、読書の検定「読Q」を新しくすることは、読書認定協会にとってこれまでの活動をより良くしていくための大きな挑戦になると思います。公開は約半年後とのこと。「やることはたくさんある。」と言いながらも「新しいサイトをつくるのは楽しいです。」と笑顔で話す姿が印象的でした。

ぜひ新しい読書の検定サイト「読Q」にご期待ください。

(取材と記事作成:佐久間)

## 団体紹介

### 一般社団法人 読書認定協会

【設立】 2016年11月

【代表】 神部 ゆかり

【MAIL】 kambeyukari(at)dokq.org

【Blog】 <https://dokq.themedia.jp/>

【X(旧Twitter)】

<https://twitter.com/dokq1117>

読書認定協会では、「読書するきっかけを提供し続けること」を理念として、活動を行っています。現在、子どもたちの本読みの活動や児童書のクイズと一緒に考えてくれる仲間を募集しています。ご興味のある方はぜひ一緒に活動しましょう。読書好きならどなたでも大歓迎です。お気軽にご連絡ください。





「MOOC」という言葉を見たり聞いたりしたことはあるでしょうか。MOOCは「Massive Open Online Courses」の略で、オンラインで遠方の教育機関の講座を受講できる仕組みです。アメリカで始まり、現在日本でも「JMOOC（ジェームーク）」というプラットフォームがあります。民間の学習プラットフォームも増加しており、時代の流れか基本無料のサービスも多くなっています。今回のNPOTIPSでは、2024年4月現在のオンラインでの学び環境についてご案内します。

### JMOOC

大学レベル以上の内容を配信元の大学が公式に提供しています。有償サービスはオプションのみとなっており、基本的に費用はかかりません。1週間で5～10回の講義で構成され、より集中的に学ぶことができます。1回の視聴ごとに確認のための小テストがあり、1週間の学習が終わると課題が提示されます。1週間の講義サイクルを4週繰り返して、週ごとの課題と総合課

題の評価が修了条件を満たせば、修了証が発行されます。

### PEATIX

元々はイベント向けのオンライン決済サービスでしたが、コロナ禍を経てオンライン講座やオンラインイベントのプラットフォームとして定着してきました。登録や配信も簡単な仕組みになっており、NPO等の講座・イベントも多く登録されています。講座等の構成も配信側が選べるため、単発や連続講座で多様な内容を学ぶことができます。一方で、提供内容の品質は配信側によります。

### YouTube

YouTubeなどの一般的な動画配信プラットフォームでも、知識や技術を身につけることは可能です。ただし、配信者の信頼性や内容の信憑性は自分で確認する必要があります。例えば、所属事務所を明らかにしている士業の方や実店舗を持っている専門店などの「本業における責任を持つ方」、過去の経歴などから「その分野にお

ける実績が明らかかな方」など、信頼性が必要な内容を学ぶ際には、ある程度の基準を持つことをお勧めします。

NPOのそれぞれの専門分野でも、多くは社会情勢や地域の状況とともに変化が続いています。最新の情報、遠隔地の状況、アカデミズムにおける捉え方などもオンラインで学べる環境が整ってきました。お時間を見つけて、改めて学びなおす機会を設けてはいかがでしょうか。（せ）



なぜなに

# NPO

vol.178



## 助成金の使い方

4月になると民間の助成団体から助成金や補助金のご案内が届き始めます。また昨年度、助成金・補助金を活用した場合には、組織の年度報告とは別に、補助金・助成金の報告書提出や、報告会への出席や発表を求められることもあり、4月は忙しいというイメージを持っている組織も多いのではないのでしょうか。昨年度後半に2件の助成金・補助金の報告に関する研修を依頼されました。一つは、報告書で今後の信頼を集めるための研修、もう一つは実施した活動を自己評価してみようという研修でした。どちらも都内の研修で、大変難しい題材でしたが、とても重要な視点であり、助成金・補助金を活用し、活動の活性化はもとより、組織の基盤を強化するためにも必要な考え方と感じました。

申請書や予算はかなり一生懸命作成します。そして、実行するのですが、報告書はできたこと、実行したことを羅列している場合が多く見受けられます。報告書の書式にも左右されますが、できれば「活動の評価」や「気づき」、「今後の展望」も記載をすることや、発表資料に掲載があると、助成金・補助金の有効性や社会への効果が解り、次に繋がります。収支決算は、執行状況を期中から予算書と見比べながら管理をすることで、何か予定とは違ったときに助成元との早めの相談ができ、説得力のある決算書の作成がしやすくなります。

そもそも、助成金・補助金を選ぶ際に、金額や時期を中心に考える場合が多いのですが、自組織の活動目的やテーマ・活動対象・活動内容と、助成する側の組織の考え方や、助成目的との整合性に齟齬や乖離がある場合は、成果目標に対する理解が得られにくいことから、採択される確率は低くなります。例えば、現在藤沢市で募集している「ミライカナル活動サポート事業」は、3年後の藤沢市のミライを創り出す活動への助成金となっています。市民活動団体の日頃の活動が藤沢市のミライにどのように寄与できるのかが大変重要なポイントではないかと思えます。

助成金・補助金は、提供側と受け取り側との意識が合うことで、成立する資金です。まず資金提供者を選ぶときには、提供者の社会課題認識と目指す社会を募集要項から読み取り、自組織の考え方とフィットした場合に申請しましょう。そして助成期間に予期せぬ出来事が生じた場合は、遠慮せず助成元に相談していくことで、困ることは少なくなり、のびのびと活動を展開することができます。きっと望んだ成果も出てきやすくなるでしょう。

助成金を申請する前に、自組織と助成元との相性を判断することをお勧めします。藤沢市市民活動推進センターと市民活動プラザむつあいでもご相談受けいたします。お気軽にご相談ください。（て）

## 講座・イベントの

# ごあんない

イベント

日時

■ITサポート講座「らくらく Word 講座 (全2回)」

5月27日・6月10日(月) 13:30～16:00

■マネジメント講座「ボランティアはじめの一歩」

6月9日(日) 13:30～15:30

■プラザdeカフェ～身近なSDGs～コーヒーの“ほろ苦い”話

6月29日(土) 10:00～12:00

NEW!

## 支援施設からのお知らせ

### ■ITサポート講座「らくらく Word 講座 (全2回)」

この講座では、Wordの基本操作から、イラストや写真入りのチラシ作成、はがき作成、その他便利な活用方法まで、幅広い内容をカバーします。連続講座ですが1回のみ参加が可能です。初級～中級向けの講座となります。

日時：5月27日(月)、6月10日(月) 13:30～16:00

会場：市民活動推進センター 会議室

料金：2500円(資料代含む)

対象：NPO・市民活動・地域活動に関わっている方で、

Microsoft Office Wordを使用している方、もしくはこれから使用

予定の方

定員：12名(先着順・貸出PC3台まで)

講師/運営：藤沢市市民活動支援施設サポートクラブ ITサポーター

主催：藤沢市市民活動推進センター



### ■マネジメント講座「ボランティアはじめの一歩」

誰かの役に立つ、スキルを活かす、地域の人の輪に入りたいなど、様々な目的でボランティアを始めたい人のための講座です。これからボランティアを始める人に向けて、ボランティアとは何か、今どんな活動が行われているか、始める際の心得やボランティア先の探し方を伝えることで、地域の活動への参加のきっかけを作ります。

日時：6月9日(日) 13:30～15:30

会場：市民活動推進センター・オンライン

料金：無料

講師：手塚明美氏((一社)ソーシャルコーディネートかながわ 理事長)

対象：ボランティアや市民活動・地域活動に興味のある方。

定員：30名



### ■プラザdeカフェ～身近なSDGs～コーヒーの“ほろ苦い”話

コーヒーの栽培と人権についての講話を聞き、実際にコーヒー豆を焙煎して、自分のコーヒーをいれる体験をします。気軽にコーヒーを生活に取り込む知恵を学び、「癒しの時間作り」に役立てて、活動の楽しさを体感してませんか？

日時：6月29日(土) 10:00～12:00

会場：六会公民館 調理室

料金：500円

講師：瀧田 信之氏(NPO 法人湘南 DV サポートセンター 理事長)

対象：何かに関わってみたい「始めてみたい」等活動に興味のある方

コーヒーに興味のある方、地域活動への興味がでてきた方など

定員：15名

### ■机・イス等の寄付について

登録団体より、移転に伴い不要になった備品類を市民活動団体等に寄付したいとのお申出がありました。

ご活用いただける団体を募集いたします。

内容 PCデスク1台、椅子(重ねられるもの)2脚

椅子(折り畳み式)2脚

その他、事務用品等

対象 当施設登録団体、市内NPO法人等

お問い合わせ 藤沢市市民活動推進センター

発行：藤沢市市民活動支援施設

本館：市民活動推進センター

開館時間 9:00～22:00 火曜休館

※日・祝は9:00～20:00

〒251-0052

神奈川県藤沢市藤沢1031 アーバンセンター藤沢 2F

TEL:0466-54-4510 FAX:0466-54-4516

Eメール: f-npoc@shonanfujisawa.com



分館：市民活動プラザむつあい

開館時間 9:00～17:00 月曜休館

〒252-0813

神奈川県藤沢市亀井野4-8-1 六会市民センター2階

TEL&FAX:0466-81-0222

Eメール: f-npoplaza@shonanfujisawa.com

編集：認定NPO法人 藤沢市市民活動推進機構(藤沢市市民活動支援施設 指定管理団体)

※この情報誌は、サポートクラブのメンバーのご協力により、皆さまのお手元に届いております♪  
サポーターも随時募集中です！